

## 第4回 豊橋市市民協働推進審議会 議事録

日 時	令和7年2月21日（金） 午前10時～午前11時50分
場 所	豊橋市役所 東122会議室
報告者	安形 義光
出席者	別紙のとおり
傍聴者	なし

### 1 開会

- ・ 欠席者 越智委員、渡邊委員
- ・ 事務局から委員の半数以上の出席が確認できたため規則に基づき本会議が有効に成立していることを説明。
- ・ 今回の議事は公開とする。
- ・ 議事録の署名は、河井委員と吉田委員に依頼する。

### 2 議題

#### (1) 次期市民協働推進計画の策定について

- ・ 市民協働に関するアンケート結果報告書について
- 事務局から、資料1、参考資料1～4について説明。
- ・ 委 員：市民活動団体が協働に望んでいるものとして、他団体との情報交換、活動拠点の提供、活動資金の助成となっており、本来の協働という意味から少し離れているのではないか。これだとやってほしいことを書いている感じがする。本来の協働とは、自分たちのできることはこれで、だからこの部分を助けてくださいというものでは。ご高齢の方たちの中には自分のペースでやりたいが、ここが足りないからここだけ協力してほしいという感じなので、そこに対して市職員などがスキルを高めて向き合っていく、そのために、協働に対する考え方も含めて職員を育てていかないといけないのでは。
  - ・ 事 務 局：協働がどういうものか団体や職員等を含めて伝えていく必要があると考える。
  - ・ 委 員：近年、市との協働よりも団体同士の協働が増えてきているので、もしかしたらそちらを先にやった方がいいのでは。また、今回補助金の申請が多いが、公金に頼らざるを得ないという状況は本来の形なのか。トヨッキー基金の残高のこともあるので、自分たちがどのように活動していくか考えていくような機会をつくっていかなくてはいけない。
  - ・ 委 員：団体を機能させていくためには人員を膨らませないといけない。機能させて、活動しながら概念等を覚えていくのもいいのでは。また、これからはCSRに力を入れている企業の協力が必要。ある企業ではP

TA活動への参加にも協力している。そのような市民活動に協力するという制度をつくってもらえるよう、会社に働きかけることが必要だと思う。さらには、社会に認められたいという企業には、活動に対して表彰すると喜ばれる。入札に対して便宜を図るという市もある。何かインセンティブを与えることも必要。人が足りないという点では、大学生の活動に対しても同様にインセンティブが必要では。

- ・ 委員：市民活動団体同士の協働促進では、自分たちの活動をアピールする見本市のような場。どすごいネットにプラスして実際に知り合って話を聞く場を設けるのもよいのでは。また、公共施設は施設の目的に沿ってないと有料になってしまうので、無料にしたりすると活動も活性化していくのでは。
- ・ 委員：市民センターでは、ボランティアセンターの見本市のような形でオレンジフェスタを開催している。団体も多様になってきているので役割分担も必要ではないかと思う。また、無料というのはみなさん望まれるかもしれないが、施設の維持管理にかかる費用負担も考えていかななくてはいけない。人を集めるということでは、ご高齢の方が多い団体では、自分たちと同じ志向の人を集めたいとか、意向が強くて後から入った人が馴染めない等の問題がある。本当はそこに若い人が入って多世代でその団体が活動していけるようになるとよい。
- ・ 委員：年配の方を中心とした団体で先細りの傾向があるということに対して、若者が関わっていく事が大事だと思うが、若者は自分たちでやりたいというニーズもあると思う。難しいかもしれないが、自分たちで団体を立ち上げていくことによって多様な団体が創出される。
- ・ 委員：今回の補助金の申請は若い世代が多いと思う。以前とは変わってきている。
- ・ 委員：市民活動団体同士の協働が増えているとのことだが、団体の足りないところを事業者が補完というようなイメージがあるのだが、市民活動団体同士で協働して活動の充実が図られるということがあるのか。
- ・ 委員：異年齢を対象としている子育て団体同士がつながり合うことで、子どもの成長段階で次の団体にそのまま情報を引き継げるので、より厚い支援ができる。
- ・ 委員：推進計画のためのアンケートなので結果をしっかりと活用してほしい。
- ・ 委員：インセンティブが必要なので、つつじ、くすのき補助金等で、団体構成員に若者がいるかどうかを審査項目にすることはできるのか。また、市民協働推進賛助企業のようなものを作って公表するとか。豊橋市では子育て応援企業があるが、その判定項目の中に市民協働も入れるとか、そういう制度は作れるのか。
- ・ 事務局：子育て応援企業については、工事における総合評価方式の加点材料に

なっているが、まちづくりやボランティア活動をしているかどうかということについては評価項目になっていない。検討材料の一つにはなるかもしれない。

- ・委員：そこに若者の所属状況を追加するとか。
- ・委員：そのときだけ子どもの名前を使うなど考えられるので、うまくいくのかということはあるが、考え方としてはよいと思う。
- ・委員：自分も校区の民生委員等で活動してきたが、次の人が見つからなくていつも困っており、同じ方たちが何年もやるということになってしまっている。
- ・委員：自治会のことで言うと、若者がやりたいことがあれば若者に任せるなど、うまく仕分けしてやっていけばいいと思う。また、自治会における他団体との協働について、どういうことを言っているのか。市との協働で言えば、地域の防災や防犯等は必ず市や警察などと協働して行っているので、そういう面で見れば自治会での協働はできている部分もかなりあると思う。その辺も踏まえながら進めていかないといけない。
- ・委員：若者が参加することは大切で、大学生だけでなく中高生等も関わっていけるとよいが、誰でもやればよいという訳ではなく、意識や気持ちがないと続かない。活動に参加するきっかけが大事だと思っていて、愛知大学では地域政策学部で学生地域貢献事業というものがあり、福祉や環境などの活動に参加したり、自分たちで団体を立ち上げることもできる。そのような制度がもっと広がっていけば、知るきっかけややってみようという気持ちも生まれてくる。そういうところから広げていくのもいいのでは。

### 3 報告事項

---

#### (1) 市民協働推進補助金の見直しについて

○事務局から、資料2について説明。

- ・委員：見直しは決まったということではないのか。
- ・事務局：市として事業化していく方針は決まっているが、予算化されるかは議会で議論されて決まっていく。
- ・委員：補助金の申請相談を受けた中で5万円に抑えてきている団体もある。個別の案件ごとに内容を理解して、どのように補助金を上げるのかというのは難しい。最初から10万円出すというものでもないと思う。
- ・事務局：参加料をとって収入に算入している場合、参加料をとることをやめて、10万円まで補助金を出すのは違うと考える。その辺りは慎重に個別に判断しなければいけないと考える。

#### 4 その他

---

---

(1) 第5回審議会について

○事務局から第5回審議会の内容等について、市民協働推進審議会公募委員の募集について説明。

#### 5 閉会

---

---

以上をもって、本審議会を終了とする。

令和7年3月19日

議事録署名者

河井 裕

吉田 典子

## 市民協働推進審議会委員名簿

NO	選出区分	氏 名	備 考
1	学 識	きくち ひろゆき 菊地 裕幸	愛知大学から推薦 地域政策学部 教授
2	コミュニティ関係	たかの えいじ 高野 英司	豊橋市自治連合会から推薦 自治連合会 理事
3	ボランティア関係	かわい ひろし 河井 裕	豊橋市社会福祉協議会から推薦 社会福祉協議会 職員
4	事業者	ほそだ きょうこ 細田 京子	豊橋商工会議所から推薦 豊橋商工会議所女性会 会長
5	NPO関係	よしだ のりこ 吉田 典子	市民センター指定管理者から推薦 豊橋市民センター センター長
6	公募市民	ながさか ひでき 長坂 英樹	
7	公募市民	ちかだ たいいち 近田 泰一	
8	若者（大学生）	じん さとみ 神 智美	愛知大学から推薦

※任期：令和5年5月10日～令和7年5月9日

《事務局》

市民協働推進課 課 長 中澤 浩英  
 課長補佐 文野 耕太郎  
 主 査 山本 紘史  
 主 事 豊田 健二  
 主 事 安形 義光